

2007 年度 ワークショップ活動

DV ワークショップ 相談員研修会

開催日 2008 年 1 月 21 日、22 日、24 日、25 日、28 日、29 日

会場 東京（全国婦人会館）、  
大阪（千里中央・ライフサイエンスセンター）、  
北九州（北九州市立男女共同参画センター）

講師 マギー・ジークラーさん

マギーさんは、1979 年からカナダのトロントを中心に家庭内暴力等による被害者のシェルターで被害者および加害者のカウンセリングに携わって来ました。現在は、ジャスティ・インスティテュートの臨床カウンセラーであり、援助・支援者の育成、カウンセリングのより効果的な方法、支援のあり方などの開発にも取り組んでおります。仕事以外にも難民認定や地域のボランティアなどの幅広い活動を行っています。

ワークショップ概要

**【概要】**

- ・前置き
- ・トレーニングと学習の方法
- ・参加者の目標の明確化
- ・アジェンダの概要／研修会のスケジュール

**【自分たちが持っている知識を確認する】**

- ・参加者の DV の理解の検討
- ・参加者が DV について知りたい事
- ・ジェンダー体験の検討

**【DV の概要】**

- ・DV とは何か
- ・コントロールの仕組み
- ・社会、文化と DV の関係
- ・ジェンダーと DV の関係

**【DV がおよぼす影響】**

- ・暴力が被害者におよぼす影響
- ・暴力を目撃した子供たちにおよぼす影響

- ・外傷性ストレスを引き起こす反応
- ・DV が知的認識、感情、精神におよぼす影響

【DV にどう対応するか】

- ・社会、法律、地域の対応の重要性
- ・DV と女性の安全に対するカナダでの画期的な対応の例
- ・強固な組織とネットワークづくり
- ・地域への働きかけ、教育、提言活動

【DV 被害者に対する支援と回復への道】

- ・危機的状況にある DV 被害者への支援
- ・DV トラウマから回復へいたる段階
- ・身の安全と被害者が変わるための基本的ステップ
- ・DV 被害者を助ける側が直面する難題
- ・被害者支援の基本的スキル

【目的の設定と具体的手立てを考える】

- ・地域での DV の取り組みを強化するために、  
個人としてまた共同でできること
- ・目標と取り組みの意図を具体的な言葉にすること
- ・研修会終了



左：講師 マギー・ジューグラーさん



研修の様子